

## 兵庫医科大学 研究実施のお知らせ

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて被検者の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でもご本人に不利益が生じることはありません。

研究課題名	健常高齢者および嚥下障害患者等における食事中および睡眠時の嚥下状態のモニタリング [倫理審査受付番号：第 1580 号]
研究責任者氏名	越久 仁敬
研究期間	2013 年 10 月 4 日 ～2024 年 3 月 31 日
研究の対象	以下に該当する方を研究対象とします。
	過去に、「健常高齢者および嚥下障害患者等における食事中および睡眠時の嚥下状態のモニタリング」研究に参加された健常高齢者の方
	検査日：西暦 2013 年 10 月 4 日～2018 年 3 月 31 日
研究に用いる 試料・情報の種類	<input type="checkbox"/> 試料等 <input type="checkbox"/> カルテ情報 <input type="checkbox"/> アンケート <input checked="" type="checkbox"/> その他（被検者データ）
研究目的・意義	呼吸も食べ物も咽頭（のど）を通りますので、呼吸と嚥下が協調して起こらないと、食べたものが気管の方に入って行って（「誤嚥」といいます）、むせたり、肺炎を起こしたりします。高齢者の肺炎は多くの場合、誤嚥に関連して起きることが分かっています。若い健康な人では、嚥下は呼息と呼息の間に起こりますが、高齢者や呼吸器の病気の人では、嚥下のすぐ後に息を吸ってしまうパターン（嚥下 - 吸息パターン）の人がいます。このような人は、誤嚥しやすく、それがきっかけで調子が悪くなる傾向にあります。この研究では、そのような危ない飲み込み方をする高齢者がどのくらいいらっしゃるのか、また、どういったしくみでそのような飲み込み方になるのかを調べさせていただきました。今回、この研究データを、もっとたくさんのご高齢者の健康に役立てたいと思い、データから個人情報を一切削除した上で、どこの研究者でも使っていただけるようなデータベースを作成することといたしました。
研究の方法	本研究では、被検者になっていただいた方に試験食を食べていただき、呼吸と飲み込む時ののどの動きや音を「嚥下モニター」という機械で取得させていただき、飲み込みのタイミングやの前後の呼吸の仕方を解析しました。今回、それらの情報を誰のデータかわからないように加工してデータベースに登録します。

外部への試料・情報の提供	匿名加工情報としたデータベースは本学で管理します。このデータベースは、将来の研究の対照データとして他機関に提供する可能性があります。
研究組織	兵庫医科大学、京都大学、カレイド株式会社、株式会社ジェイクラフト、ユーセンスメディカル株式会社、フードケア株式会社との共同研究で集積したデータを使用します。
個人情報の取扱い	匿名加工情報データベースを作成する際には、データからは個人情報を全て削除します。個人と紐付ける対応表を作りませんので、データから個人は特定できません。
本研究に関する連絡先	<b>研究責任者： 越久 仁敬（生理学生体機能部門、教授）</b> <b>【連絡先】 平日（9時～17時） 電話：0798-45-6385</b>